

2019年12月25日
早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター事務局

早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター
第4回ふくしま浜通り文化育成と発信事業ワーキンググループ会合
開催案内

主催:早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター

早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI) <http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/>

1. 概要

本ワーキンググループ(WG)会合は、2019年1月27日の第3回ふくしま学(楽)会(ならはCANvas)において提案した「ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ(SI構想)」の具体化を進めるための「場」であり、2019年5月24日のふくしま浜通り芸術祭準備懇談会(ふたば未来学園高校)の討議をベースに開催している会合です。本WG会合は、SI構想における第2の柱の「ふくしま浜通りにおける地域アートの展開による地域の新たな魅力や価値の創造」の実現に向けた具体策の取りまとめを目的としています。

2019年6月14日の第1回WG会合(早稲田大学)、2019年8月3日の第4回ふくしま学(楽)会(ふたば未来学園高校)、2019年10月7日の第2回WG会合(早稲田大学)と議論を重ねてきました。特に2019年11月29日に福島県浜通り地域の広野町で開催した第3回WG会合における地域の方々との意見交換を踏まえ、今回は福祉を含めた多分野と連携した地域アート展開の多様な可能性を見出すため、専門家による報告や参加者による討論を行います。

なお、本WG会合は、平成31年度大学等の復興知を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業「早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター事業」(研究代表者:早稲田大学教授・松岡俊二、2019年4月~2020年1月)に基づくものです。

2. 日時・会場

日時:2020年1月16日(木)10:40~15:00(10:10開場)

会場:早稲田大学(早稲田キャンパス)19号館(早大西早稲田ビル)713会議室(7階)

<https://www.waseda.jp/gsaps/access/>

3. プログラム

10:40~10:50	司 会: 安部 良(安部良アトリエ一級建築士事務所、明治大学兼任講師) 開会挨拶: 松岡俊二(早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター長、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授)
10:50~11:50	報告1: 藤岡聰子(福祉環境設計士、株式会社 ReDo 代表取締役) 「ほっちのロッヂプロジェクトについて」(仮)
11:50~12:50	報告2: 山本麻紀子(アーティスト) 「ノガミツプロジェクトについて」(仮)
12:50~13:50	昼食をとりながら、第5回ふくしま学(楽)会の説明
13:50~14:50	総合討論
14:50~15:00	まとめ、今後の予定など
15:00	終了

4. 報告者の紹介(次ページ)

藤岡聰子(福祉環境設計士、株式会社 ReDo 代表取締役)



1985年生まれ、徳島県生まれ三重県育ち。夜間定時制高校出身。株式会社 ReDo 代表取締役、医療法オレンジ理事、軽井沢町ほっちのロッヂ共同代表。2010年、24歳で介護ベンチャー創業メンバーとして老人ホームを立ち上げた時から「老人ホームにはなぜ老人しかいないのだろう?」と、問い合わせを持ち続け早9年。2015年デンマークへ短期留学、その後起業。2017年豊島区にあるゲストハウスの1階で「長崎二丁目家庭科室」をつくり、住んでいる人の「好き」を起点にした表現の場に1000人以上が訪れた。

2019年長野県軽井沢町へ3人の子を連れ家族で移住。2019年9月に訪問看護ステーション（のようなもの）を立ち上げ、2020年4月に診療所と大きな台所がある所「ほっちのロッヂ」を開始予定。在宅医療拠点を”ケアの文化拠点”と名付け、人の流れが生まれる、生き物のような場をつくろうと試みている。

山本麻紀子(アーティスト)



1979年京都市生まれ。京都市立芸術大学・大学院 絵画専攻 構想設計修了。ある特定の場所のリサーチを通して観察や考察を続け、常識や習慣など日常の中で見過ごされている事柄や疑問を糸口にして、他者とのコミュニケーションを発生させるプロジェクトを行う。その一連の過程を、写真、映像、ドローイングなど様々な形式に展開させて作品制作を行っている。2018年より、京都市の「文化芸術による共生社会実現のための基盤づくり事業」の一環として、高齢者福祉施設・東九条のぞみの園（京都市南区）に関わり、利用者や職員、また地域の方々と協働する「ノガミツツプロジェクト」を実施。また、ライフワークとして、2013年より15年計画で日本（水戸）とイギリス（ペンザンス）の巨人伝説のリサーチをベースに「眠り」や「怒り」をテーマに巨人の世界を探求している。7年目の現在は「植物」や「土」をキーワードに模索中。